



主のご降誕おめでとうございます。2017



第364号

2017年 1月

〒461-0004
名古屋市中区葵2丁目6-35
カトリック名古屋教区広報委員会
「教区ニュース」編集部
電話 (052) 935-2223
FAX (052) 935-2254
印刷所 株式会社 荒川印刷
毎月第1日曜日発行

1月1日
世界平和の日

1月18日〜25日
キリスト教一致
祈祷週間

1月29日
世界こども助け合い
の日(旧名称:カトリック
ク児童福祉の日) 献金

教区ホームページ

福音の
ひびき

1月の説教者

- 1日 神の母聖マリア 三上 和久 (三馬教会・輪島教会)
- 8日 主の公現 ケレハ・ブレンダン (神言修道会)
- 9日 主の洗礼 古川 利雅 (日比野教会・八熊教会)
- 15日 年間第2主日 サンティアゴ・エドガルド (神言修道会)
- 22日 年間第3主日 寺尾 総一郎 (膳棚教会)
- 29日 年間第4主日 ジョン・グラハム (各務原教会・江南教会)

2017年 新年のあいさつ 新しい年、分裂の世界に一致を！ —あらゆる壁を越える教会をめざす中で—

教区司教 松浦悟郎



新しい年の初め、世界のすべての人の上に、そして名古屋教区の皆さまの上に神さまの豊かな祝福があるようにお祈りします。

革と協力関係をつくっていかねばと願います。このことのために、司祭の人事配置も、司祭の生活費を含めた会計のシステムも全教区が一つの教区であることを示せる形をとっていかねばと思っています。

今年には特に、この中の「一つの教区」を大きく前進させたいと考えています。違いが「壁」ではなく、出会いによって「豊かさ」となり、「新しい力」の源となるからです。

昨年、いつくしみの特別聖年という恵みの一年でした。私にとっても、着座の半年後に始まった特別聖年は大きな意味がありました。特に、特別聖年の始まりと同時に出した「司教教書」に示した教区ビジョンを、神のいつくしみに支えられながら教区の皆さまと一緒に歩み出せたことは何よりの喜びでした。特に、教会は自己目的のためにあるのではなく、分裂と暴力の中で苦しむこの世にあって、神のいつくしみの「しるしと道具」となるため、意識と組織を社会に向けるさまざまな取り組みができたことでした。もちろん、ある人たちにあっては急な変化と感じたり、私の説明不足などで戸惑われた方もおられると思います。その意味で、これからもできるだけ対話を大切にしながら、共に「神の国への旅」を続けていくことができたいと思います。

さて、司教教書の「⑥宣教会、修道会、カトリック施設と共に一つの教区に」という項目の中に、次のような一文があります。

「誰が担当していても、私たちは同じ名古屋教区のメンバーであることを意識し、ひとつになつて歩んでいけるように意識改

進めたいと思います。どの小教区に属しているか、同じキリストに結ばれ、同じ名古屋教区で働く司祭や信徒として垣根がないのです。昨年は、司祭同士の交わり、ブロックでの活動、北陸と東海の教会が特別聖年の巡礼や青少年企画で交流するなど、いろいろな試みが行われました。今年には、司祭の人員費の統一を含め、「一つの教区」を更に進めていきたいと思います。私たちが自身が壁を越えて一つの教会になろうとする努力や、教会内での救いや和解を実現しようとする努力は、たとえそれが教会内の取り組みであっても、それらはすべて、世界が一つになるための行動とつながっていることを意識していかねばなりません。それが、教会が人類一致の「しるしと道具」になる意味だからです。

特別聖年でいただいた多くの恵みを感謝しながら、神のいつくしみの「み顔」を人々に具体的に示していかねば、今年も共に歩んでいきたいと思います。

昨年12月8日の「無原罪の聖マリア」の祭日から始まった「いつくしみの特別聖年」が11月20日「王であるキリスト」の祭日をもって閉幕した。名古屋教区司教座聖堂でミカエル松浦悟郎司教が主司式して閉幕ミサが行われた。

司教座聖堂布池教会で「いつくしみの特別聖年」閉幕ミサ



「いつくしみの特別聖年」閉幕ミサの様子。司教座聖堂布池教会で。

確認した。50年前の12月8日「無限罪のマリア」の祭日に第二バチカン公会議が開かれたが、それは、ただ「大きな会議だけでなく閉じていた教会が徹底的に開いた。言ってみれば教会が大きな地震のように揺れた会議で、その日はその決断をした日」と説いた。そして、その公会議を呼びかけた教皇ヨハネ23世の言葉、それまでの厳格で厳しい教会ではなく、「神様のいつくしみとあわれみという筋を敷いてこの世界を導いていく」を挙げた。「争ったり、傷つけ合ったりしている私たちが救し、励まし、もう一度立ち上がるように、神様は人となつて私たちのところに来てくださった。そのや

さしい神様に支えられて私たちが変わっていく」と司教は言い、当日の朗読で読まれたザアカイの話に言及した。「良いことをしているから救われるという一般的な考えではなく、救われない人を受け入れてくださる神様の救いが先にあって、その喜びによって動かさず、私たちは善い人間へと変わっていく」と力を込めた。

教は「これが教皇フランシスコが今日扉を開けるということの意味につながる」と説いた。この1年間、神様のいつくしみ、あわれみについて話を聞いたり、歌ったり、考えたりしてきたが、司教は「いつくしみとは、どういうことでしょうか」と改めて問いかけた。

次いで、子どもたちに向かつて、「今まで出会った中で一番やさしい人の顔を描いてください」と言われたら、誰の顔を描きますか?と発問し、しばしユーモラスなやり取りがあった。司教自身は、「一番やさしい顔と言われたら、私は血だらけで、涙を流し、苦しむ顔を描きます」と言い、それが今日の「王であるキリスト」と続けた。「私たち人間のために、どうして神があんなにも苦しまなければならぬのか、私たちはこのイエス様の顔、面影を心に映しながら、聖霊を受けた上で、人々に神様のいつくしみを表していること」だと強調した。「喜ぶ人と共に喜び、共に悲しみ、汚れてもいいからイエス様について行く。そのために勉強し、そのために生きる」と励まし、これからの新たな決意を呼びかけた。

閉祭の歌が歌われる中、一年間掲げてきた「いつくしみの特別聖年」のタペストリーが説教台から静かに降ろされ、閉幕

名古屋教区殉教者祭のお知らせ

日時 2月4日(土) 午前10:30~
・ロザリオの祈り
・名古屋教区殉教者顕彰ミサ
(司式) ミカエル松浦悟郎司教

場所 栄國寺境内キリシタン顕彰碑前
(名古屋市中区橋1-21-38)

交通 地下鉄名城線「東別院」駅下車4番出口北へ3分「下茶屋公園」交差点を西へ4分栄國寺には駐車場がありません。公共交通機関をご利用下さい。

ご注意

連絡

- ・ロザリオをご持参下さい。
- ・司祭は「赤」のストラをご持参ください。
- ・式場へは顕彰碑の南側広場(道路沿い)からお入りください。
- ・顕彰碑、墓碑が建立されている区画へはお入りにならないようお願いします。

問合せ 名古屋教区宣教司牧評議会事務局
☎052-936-8366 Fax 052-935-2254

新成人を祝う新年の集い

New Year gathering to celebrate the new adults

日時: 2017年1月15日(日)

14:00 司教ミサ (新成人祝福式)

16:00 パーティー (無料)
グロー司教兄弟バンド
“ビートルズ mini”

17:00 終了予定

場所: 布池司教座聖堂 (ミサ)
地下ホール (パーティー)

主催: カトリック名古屋教区

—あらゆる壁を越える教会をめざす中で—

カトリック春日井教会設立50周年を祝う
「おさな子のようにつくしみ深い神様とともに50年」

カトリック春日井教会 13日、春日井教会で行われた。ミサは松浦悟郎司感謝ミサと祝賀会が11月 教が主司式し、崎濱宏美



神父(コンベンツアル聖フランシスコ修道会日本管区長)、北向修一神父(春日井教会主任司祭)が共同司式をした。歴代の主任神父や修道士も列席した。

説教で松浦司祭は、まず、50周年とは「50年前教会が建ったということではなく、50年前松岡司教の認可を受けて小教区として認可されたこと」と説明し、共同体をスタートさせるための要素を、ポルポト政権後のカンボジアの教会設立の例を引用して話した。そして、「今回50周年のテーマを『幼子のようにつくしみの特別聖年』を思い起こさせる、とても良いテーマ」と褒め、二つの『幼子』のイメージから捉えたことを述べた。一つは、両親のまなざしの中でのびのび遊んでいる幼子のイメージ、もう一つは、親に「こっちは行こう」と言われたら、「はい」と言っている幼子、



「はい」と言っている幼子、と述べて、私たちの生き方を通して、私たちの関わりを通して、救いの実現をしたいと強調した。幼子のように神様をまた、司教は、この地に一番初めにフランシスコ会の司祭がやって来て、人々の救いのためにここに教会を建て、共同体を築いていった歴史に触れ、その歩みが今も続いていると話した。そして、「私たちは神に呼ばれたにも関わらず、自分のためにだけ信仰を持つとしたら、それは私たちの本来の目的ではありません」と述べ、私たちの生き方を通して、私たちの関わりを通して、救いの実現をしたいと強調した。



また、司教は、この地に一番初めにフランシスコ会の司祭がやって来て、人々の救いのためにここに教会を建て、共同体を築いていった歴史に触れ、その歩みが今も続いていると話した。そして、「私たちは神に呼ばれたにも関わらず、自分のためにだけ信仰を持つとしたら、それは私たちの本来の目的ではありません」と述べ、私たちの生き方を通して、私たちの関わりを通して、救いの実現をしたいと強調した。

南山大学附属小学校・聖霊中学校
両校聖歌隊のチャリティーコンサート



南山大学附属小学校聖歌隊と聖霊中学校聖歌隊の第7回チャリティーコンサート「みことば、祈り、うた」が11月23日、南山教会大聖堂で開かれた。このコンサートは東日本大震災で被災した人々、特に子どもたちのために、歌を通して祈り、募金活動を通して支援することを目的として企画

されたもの。来場者約250人が子どもたちの美しい歌声に聴き入った。第1部は、東日本大震災からの復興を願って、聖書朗読、そして、取り次ぎの祈りと黙禱が捧げられた。第2部は、南山大学附属小学校聖歌隊が「イエスさまがいはん」「ほくの小さなひみつ」など10曲を歌った。中でも、親しみやすいメロディーの「We are Here」(カッチーニ伝)は、子どもたちの澄んだ歌声で、いっそう魅力あるものとなった。第3部

ひとつづつになるっ!

第7回インターナショナルミュージックフェスティバル 安城教会で熱く開かれる



キッズコーラスの皆さん

「第7回インターナショナルミュージックフェスティバル」が10月30日、安城教会で、主日の国際ミサの後開かれた。出演したのは、日本、ラテンアメリカの国々、フィリピン、ブラジル、ベトナム、韓国、中国、ドイツ(出演順)の信徒、神父、シスター、神学生たち。



第1部は聖堂で各国のグループがそれぞれ聖歌を熱唱。心打つ歌が一つ一つ、ひととき聴衆の心を掴んだのは「ひろめよう キリストの平和」を合唱した「キッズコーラス」。さまざまな国籍の子どもたち25人が、歌詞が書かれた色とりどりの紙を手にして日本語で歌った。真剣な顔で一所懸命歌う歌声は、まさに天使の合唱。割れんばかりの拍手が続いた。

第2部はホールで、ギターやドラム、キーボードの伴奏で聖歌や映画音楽、ダンスなどが披露された。農民姿に扮したブルム神父はドイツ民謡を、主任司祭のアントニー神父は中国服を羽織り、中国の愛の歌を熱唱した。ユカタ姿の福崎福代さんが歌う「炭坑節」では、ホール中央はすぐさま盆踊り会場となった。孫の貴大さんが「ホッテ、ホッテ」と掛け声をかけて踊りを示してくれ

る。それを真似て、外国の人たちは、握ったり、担いだりして、はじける笑顔で盆踊りを楽しんだ。ブラジル人グループ、フィリピン人グループの聖歌演奏の時には、会場の大多数が立ち上がり、手を振ったり、手拍子したり、踊ったりして神への賛美を熱く表した。幼な子や神学生たちまでが手や腰を振って本気で踊っている姿に、見物側の一人は「天国を先取りした気分」と喜びの感想。

新刊書のご案内

『教皇フランシスコ講話集3』

2015年内の発言をまとめた教皇フランシスコの講話集です。教皇庁定期訪問(アドリミナ)中の日本カトリック司教団への講話、回勅「ラウター・シ」の教えをさらに具体的かつ情熱を込めて語った。草の根市民運動国際大会や国連総会での演説、「いつくしみの特別聖年」開年ミサ説教、また大きな話題を呼んだレビピア刑務所での洗足式の際の説教などを収録している。お問い合わせ、およびご注文は下記宛て。A6判320ページ 定価 本体1,100円+税8% カトリック中央協議会・出版部 〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10 ☎03-5632-4429 FAX 03-5632-4456



《新しい年のスタートにおすすめ書籍!》

『祈りの泉』

女子パウロ会発行 定価 1,620円

美しい自然のイラストが、心をなごませてくれます。聖書、聖人、有名人の言葉を365日にわたって集めています。一日一つの示唆に富む言葉集。新しい年のスタートに、毎朝、大切な言葉をいただける本です。成人のお祝いの贈り物にも喜ばれています。聖パウロ書院でおもてできます。



2017年 名古屋一日静修

三位一体の聖エリザベトの祈り

—現代人へのメッセージ—

日時 1月21日(土) 午前10時~午後4時
「神は私の内に 私は神の内に」九里 彰 神父
場所 カトリック日比野教会 信徒会館 (地下鉄・名城線日比野駅下車 徒歩約5分)
参加費 1000円
持ち物 聖書、ロザリオ、筆記用具、お弁当
申し込み 下記いずれかの方法でお申込み下さい。
FAX / 0568-62-5167
E-mail / seisyuu_2015@yahoo.co.jp
ハガキ / 〒484-0076 犬山市橋爪一丁田1-26
「名古屋一日静修」係り



(祭) 祭日(祝) 祝日(記) 記念日

1月の教会暦

1日(日) 神の母聖マリア(祭)
世界平和の日

2日(月) 祝聖パジリオ聖グレゴリオ(ナジアンズ) 司教教会博士(記)

8日(日) 主の公現(祭)

9日(月) 祝主の洗礼(祝)

15日(日) 年間第2主日

17日(火) 聖アントニオ修道院長(記)

18日(水) 25日(水) キリスト教一致祈禱週間

21日(土) 聖アグネスおとめ殉教者(記)

22日(日) 年間第3主日

24日(火) 聖フランシスコ・サレジオ司教教会博士(記)

25日(水) 聖パウロの回心(祝)

26日(木) 聖テモテ聖テトス司教(記)

28日(土) 聖トマス・アキナス司教教会博士(記)

29日(日) 年間第4主日

世界ごども助け合いの日・献金

31日(火) 聖ヨハネ・ボスコ司教(記)

2月の主な教会暦(主日・祭日など)

5日(日) 年間第5主日

11日(土) 世界病者の日

12日(日) 年間第6主日

19日(日) 年間第7主日

26日(日) 年間第8主日

教区行事予定 (* 松浦司教)

1月

4日(水) 教区本部事務局仕事始め

7日(土) 宣司評運営委員会*

25日(土) 青年委員会/典礼委員会/JCNA/難民移住移動者委員会・大坂管区研修会*

19日(日) 南山教会堅信式* / 城南B会議/愛岐B会議/カナの会委員会

18日(土) 正義と平和学習会/信徒協研修会/共助組合地区協研修会

16日(木) 司教評議会*

15日(水) 教区顧問会*

14日(火) 樹の会

12日(日) 教区中高生会

11日(土) 祝信徒協理事會/修女連交流会/典礼研修会

9日(木) 高山右近列福感謝ミサ(金沢教会) *

8日(水) 社会福祉委員会

29日(日) 教会学校教師会

31日(火) 北陸ブロック司教会議*

2月

4日(土) 殉教者祭(栄國寺) *

5日(日) 平針教会堅信式*/宣司評常任委員会/宣教司牧評議会*

8日(水) 高山右近列福感謝ミサ(金沢教会) *

11日(土) 祝信徒協理事會/修女連交流会/典礼研修会

12日(日) 教区中高生会

14日(火) 樹の会

15日(水) 教区顧問会*

16日(木) 司教評議会*

18日(土) 正義と平和学習会/信徒協研修会/共助組合地区協研修会

19日(日) 南山教会堅信式* / 城南B会議/愛岐B会議/カナの会委員会

25日(土) 青年委員会/典礼委員会/JCNA/難民移住移動者委員会・大坂管区研修会*

26日(日) 小松教会司教訪問*/北陸ブロック司教会議*

教区行事以外の松浦司教予定

1月

12日(木) 司教常任委員会

16日(月) 子どもと女性の権利擁護のためのデスク

18日(水) 名古屋カトリック幼稚園連盟会議

24日(火) 南山学園評議員会

26日(木) 28日(土) 外キ協全国会議

30日(月) 管区司教会議

2月

2日(木) 常任司教委員会

7日(火) 高山右近列福式

8日(水) 高山右近列福感謝ミサ(大阪カテドラル)

14日(火) 難民移住移動者委員会

20日(月) 24日(金) 司教総会

告知板

▼教区主催高山右近列福感謝ミサ 司式 教皇代理アマート枢機卿 2月9日(木)10時30分 金沢教会 ☎076・264・2536

▼高山右近列福記念講演会「ユスト高山右近という生き方―その霊性と日本の教会」 講師 古巣馨神父(長崎教区) 2月11日(土)14時~16時 布池教会・聖堂地下ホール 入場無料 主催 教区修女連

▼第45回典礼研修会 生きた祈りへの招き―ゴロー司教の典礼アイディア集から― 講師 松浦司教 2月11日(土)12時30分受付13時~16時 南山教会マリア館 参加無料

申込み 申込書(小教区にあり)に記入し、FAX 052・804・8878 (典礼委員会事務局)まで。またはHPから。1月28日(土)締切り 問合せ ☎052・831・9131 (ケレハ神父)

福信館便り ☎052(935) 7180

◇1月の炊き出し

木 5日布池、12日東海・南山・樹の会、19日聖霊・南山・樹の会、26日城北橋 金 6日喜望の会、13日布池、20日長浦、27日喜望の会

訃報

エドワード・ウィリアムス神父(オブレイト司教) 2016年11月23日午前7時15分、マサチューセッツ州トウクスベリーのオブレイト会レジデンスで帰天。86歳。1930年1月2日マサチューセッツ州ボストン生まれ。57年6月7日ワシントンDCで司教叙階。58年9月17日来日。徳島・鳴門教会、兵庫・伊丹教会、福岡・光丘教会、膳棚教会、福岡・古賀教会、豊橋教会にて宣教司牧。

編集後記

▼今年1年間、名古屋教区ニュースをご購読頂きありがとうございます。来年もさらに一層の努力を重ね、内容も充実した教区ニュースにしたいと思っています。更なる記事のご提供をお願いします。

▼取材と校正のスタッフ募集 ご協力願える方は編集長の早川努神父(岡崎教区)まで連絡願います。問合せ ☎0564(51) 1848

建設費の返済に協力を

557件 28,231,695円
目標額 40,000,000円(11月末)

達成率 約70.5%

郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。

神言会多治見修道院・黙想会

閑静な場所、広い院庭で黙想と心身の保養を!

1月21日(土) 10:00~22日(日) 16:00 指導: 及川神父
イエスは言われた「私の名のためにこの子供を受け入れる者は、私を受け入れるのだ」と(ルカ9の48) 対象: 信徒

2月18日(土) 10:00~19日(日) 16:00 指導: 及川神父
イエスは言われた「あなた方は蛇のように聡く、鳩のように素直になりなさい」と(マタイ10の16) 対象: 信徒

3月11日(土) 10:00~12日(日) 16:00 指導: 及川神父
イエスは言われた「私に従いなさい」と(マタイ9の9) 対象: 信徒

※申込み方法、宿泊費、食事、謝礼などは多治見修道院研修センターにお尋ねください。☎0572-22-2038、携帯090-7696-8089、Fax 0572-22-2076。多治見研修センターの営業時間は午前9時~午後4時半まで。

第42回越冬炊き出し担当団体の予定表

2016年12月28日(水)~2017年1月3日(火)まで。ご協力宜しく願います。

12月28日(水) 日基教団	1月1日(日) 聖公会
12月29日(木) カトリック	1月2日(月) ルーテル教会
12月30日(金) カトリック	1月3日(火) 日基教団
12月31日(土) 大韓教会	

時間 福信館は午後1時より開館
午後1時30分前日の片づけ、厨房、トイレ清掃、下拵え、
午後6時30分撤出、午後7時配食、搬入

持参物 履物、エプロン、マスク、三角巾

問合せ 福信館炊き出しの会 ☎052-935-7180

東日本大震災・災害支援金の報告 社会福祉委員会

発災時より社会福祉委員会へ振込まれた支援金を下記の通りご報告いたします。暖かいご支援に心より感謝いたします!!

(振込手数料引去後の金額)

項目	2011.3.17 発災から 2016.10.31までの合計		2011.3.17 発災から 2016.11.30までの合計	
		単月明細 11/1~11/30		
収入				
支援金総額	25,626,280	(※2) 322,201	25,948,481	
(※1) チャリティーワイン販売	894,160	0	894,160	
収入合計	26,520,440	322,201	26,842,641	
支出				
カリタスジャパンへ	9,544,038	0	9,544,038	
さいたま教区	1,000,000	0	1,000,000	
オールジャパン会議交通費	123,620	0	123,620	
大船渡プロジェクト支援	13,156,234	0	13,156,234	
ベースへ車いす4台贈呈	123,200	0	123,200	
ベースへピアノ贈呈	58,800	0	58,800	
支援ボランティア交通費	471,150	0	471,150	
支出合計	24,477,042	0	24,477,042	
単月・支援金残高	2,043,398	322,201	2,365,599	
支援金残高合計			2,365,599	

(※1) チャリティーワインとは 司教着座記念ラベルワインと3.11東北震災支援ワインを販売。1本2000円で販売し内500円が災害支援金となりました。ご協力ありがとうございました。(販売終了致しました)

(※2) 11月度に支援金のご協力いただいた小教区・個人(敬称)

金沢教会、豊橋教会、
恵方町教会 (合計) 322,201円

★名古屋教区は「カリタス大船渡ベース・地ノ森いこの家」とNPO法人「障がい者自立センターかまいし」と大阪教会管区として2016年10月から新たに「カリタス米川ベース」を応援しています。

★支援金振込先 郵便振替用紙にて
口座番号 00880-6-1628
名義 カトリック名古屋教区社会福祉委員会
「東日本大震災・災害支援金」と記入願います。

ご連絡・問合せ先
社会福祉委員会
電話 052-852-1426
FAX 052-852-1422